

平成15年度長崎県教員採用試験高校数学復元問題

時間90分（9時50分～11時20分）

1 次の各問に答えよ。答えはいちばん簡単な形で書け。

問1 2次関数 $y = ax^2 - 2ax + a^2 - 4$ が2つの異なる実数解を持つための a の条件は (ア) である。

問2 3個のサイコロを振るとき、最小の目が4である確率は (イ) である。

問3 正四面体 ABCD がある。AC の中点を E、AD を 2 : 1 に内分する点を F とし、 $\triangle BCD$ の重心を G とする。AG と平面 BEF の交点を P とするとき、AP は (ウ) となる。

問4 $\log_2 x + \log_2 (x-1) = 2 + \log_2 (x-1)^2$ を解くと x の範囲は (エ) となる。

問5 $y \leq -2x + 2n$, $y \geq 0$, $x \geq 0$ の領域にある格子点の個数は (オ) である。

問6 $\int \frac{5x-11}{x^2-4x+3} dx$ を計算すると (カ) となる。

2 $z_1 = 0$, $z_{n+1} = z_n + (\cos 60^\circ + i \sin 60^\circ)^n$ とする。また、 z_n が表わす複素平面 α 上の点を A_n

とかく。このとき次の各問に答えよ。ただし、 i は虚数単位である。

問1 z_2, z_3, z_4 を求めよ。また A_2, A_3, A_4 を複素平面 α 上に図示せよ。

問2 P を複素平面 α 上の任意の点とし、 A_n と P の距離を $A_n P$ で表わす。このとき、 $A_0 P + A_4 P$ が最小となる P の存在範囲を複素平面 α 上に図示せよ。

問3 $A_1 P + A_2 P + \dots + A_6 P$ が最小となる P の存在範囲を複素平面 α 上に図示せよ。

3 次の各問に答えよ。

問1 $A = \begin{pmatrix} -1 & -2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$ とするとき、 A^n を求めよ。

問2 数列 $\{a_n\}$ が α に収束することの定義は

どんな正の数 ε を与えても、自然数 N があって、 N 以下のすべての自然数 n に対し

$$|a_n - \alpha| < \varepsilon$$

がなりたつこと

である。この定義を使って、 $a_n = \frac{2}{n} + 1$ が 1 に収束することを示せ。

4 関数 $f(x) = px^2 - 2px + 1$ が $-2 \leq x \leq 1$ において正となる p の範囲を求める問題を生徒に指導したい。次の各問に答えよ。

問1 模範解答を示せ。ただし p で場合分けする方法で解け。

問2 指導上の留意点を模範解答の流れに沿って、箇条書きせよ。

問3 生徒が上の関数を p の関数と考え、 $g(p) = (x^2 - 2x)p + 1$ として解いた。このときの解

答例を書け.

5 $a_n = 1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{3}} + \dots + \frac{1}{\sqrt{n}}$ とする. このとき次の各問に答えよ.

問1 $\int \frac{1}{\sqrt{x}} dx$ を求めよ.

問2 $2\sqrt{n+1} - 2 < 1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{3}} + \dots + \frac{1}{\sqrt{n}}$ を証明せよ.

問3 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_n}{\sqrt{n}}$ を求めよ.

問4 a_{100} の整数部分を求めよ.

平成15年度長崎県教員採用試験中学数学復元問題

時間90分(9時50分~11時20分)

1~3は高校数学と同じ. ただし, 1の「問5」と「問6」がなかった.

4 次の各問に答えよ.

問1 $\sqrt{2}$ の定義を答えよ.

問2 $\sqrt{2}$ の存在意義を説明せよ.

5 $f(x) = x^3 - 4x$ とする. このとき次の各問に答えよ.

問1 導関数の定義に従って, $f(x)$ を微分せよ.

問2 $\int_0^3 |f(x)| dx$ を求めよ.

問3 点 (a, b) を通り, $y = f(x)$ に接する接線が3本あるときの点 (a, b) の存在範囲を図示せよ.